

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和元年12月26日（木）
- 2 確認箇所  
使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
- 3 確認項目  
使用済燃料乾式キャスク仮保管設備におけるキャスク蓋間圧力の一部監視不可事象の対策状況
- 4 確認結果の概要

前回（9月26日）、落雷の影響により使用済燃料乾式キャスク仮保管設備（以下、キャスク仮保管設備）（図1）に保管されているキャスク37基中7基のキャスク蓋間圧力が一部監視不可となった事象の詳細について確認を行った。

東京電力によると当該事象の再発防止対策として、キャスク仮保管設備エリアに新規の接地極を設置する等の対策を実施するとのことであったため、本日はその対策の状況を確認した。

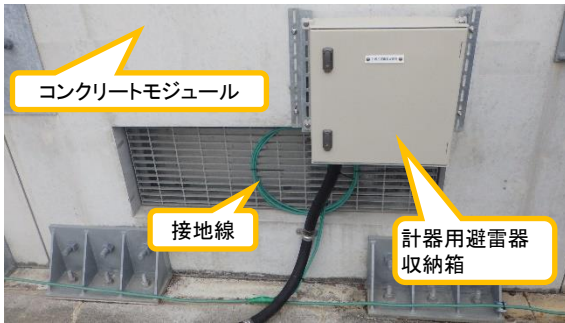
- ・キャスク仮保管設備エリア防護フェンス外の東側に新たに2箇所の接地極が設置されていた。（写真1）
- ・キャスクが保管されるコンクリートモジュール外側にも接地線が新設されていたが、接地線は未接続であった。（写真2）
- ・東京電力によると、再発防止対策工事は1月下旬に完了する予定とのことであった。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
新設した接地極の一例



(写真2-1)  
接地線の設置状況  
緑色の配線が接地線



(写真2-2)  
接地線の先端部分  
接地線は未接続の状態

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。